



国連をはじめとする国際機関は、気候変動対策や貧困、紛争、難民、人権、感染症など国際社会が直面する様々な課題に取り組んでいます。国際機関の仕事＝人道支援というイメージが強いですが、求められる人材は他の分野にも及びます。専門分野で活躍する弁護士や医師、国際機関の組織を支える会計・人事担当者、広報戦略を担う広報官やIT専門家など、民間企業出身の方も多く、理系・文系を問わず、幅広い人材が必要とされています。

国際機関におけるインターンシップへの参加

国際機関をキャリアの選択肢の一つとして考える場合に有益な方法の一つとして、国際機関のインターンシップに参加するという方法があります。主に大学院生（一部学部生も可）が対象ですが、社会人も含まれ、関心のある人に一定期間勤務体験をしてもらう「インターンシップ制度」を、多くの国際機関が設けています。

国際機関でのインターンシップは、実際に働くことで、その機関の取り組んでいる問題についてよく知る機会になるほか、組織文化の理解を深めたり、自身の経験や能力開発の機会となり得ます。社会人の方がインターンとなる場合は、即戦力となり、その期間に実績を残すことで、その後のチャンスがより広がることにも繋がります。

期間は、6週間～1年までと様々です。滞在費等の手当が支給される国際機関もあります。国際機関の就職に興味があればぜひ参加を検討してみてください。

※ 国際機関の採用プロセスにおいては、インターン経験は直接的に「職務経験」としては通常認められませんのでご注意ください。



体験談を
聞いてみよう!

IOMケニア国事務所 プログラムオフィサー インターンから、JPOとして働くまで 国際移住機関 (IOM) ケニア国事務所 プログラムオフィサー 山口 香穂 (2020年度JPO)

2018年に約3か月間、IOMケニア国事務所でインターンをする機会に恵まれました。短い期間のなかでも、かなり実践的な経験をしました。洪水被害を受けた方への非食料物資の配給事務や、人身取引反対世界デーのイベント企画・運営に関わり、出張にも複数回同行させて頂きました。JPOとしての派遣先で、インターンの時と同じIOMケニア国事務所を希望し、現在も同じ事務所で働いています。インターンの時に、様々なキャリアを持つ同僚と日々交流したことで、将来設計のアイデアを得ることが出来、それが現在にも活きていると感じています。



インターン時の上司と
IOM事務所にて



WHOフィリピン事務所ダバオ支所の
スタッフと共に

国連機関でインターン 自分の経験を通して、組織と現場を知る

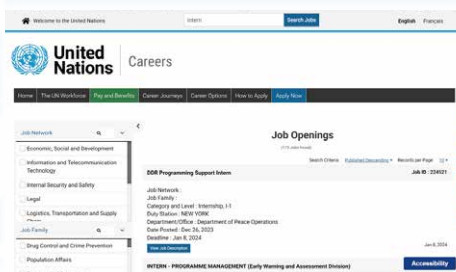
国連人口基金 (UNFPA) ニューヨーク本部 助産専門官 増田 智里 (2020年度JPO)

大学院在籍中、WHOフィリピン国事務所で、5か月間のインターンを経験しました。その間、資料やエビデンスをまとめ、保健省や医療従事者へのプレゼンテーション実施や、研修の準備と実施など、政策作成から実施まで幅広く経験させて頂きました。インターンの一番の魅力は、組織の役割や、政府や関係機関との働き方を知ることが出来ること、現場を通じ、その活動が誰のためのものか解ること、そして、その人たちの人生や価値観を学ぶことです。インターン中に築いた人脈も、人生の宝です。当時の上司は、今でも私のメンターであり、生涯尊敬することの出来る、ロールモデルにも出会えました。

国連事務局の人事・採用ページにはインターンシップ制度の紹介ページがあります。



また、こちらの検索エンジンで「Internship」をチェックすると、現在募集中のインターンシップのポストが表示されます。
それ以外のカテゴリーについて調べることも可能です。



UN Photo / Manuel Elías



UN Photo / Manuel Elías

インターン情報はこちら

国際機関人事センターのWEBサイトでは、インターンシップを実施している国際機関のリンクをリストアップしています。

こちらで関心のある国際機関のインターン情報を調べてみてください。



©UNICEF Tokyo/2021

安達 正之介さん
国連児童基金 (UNICEF)
東京事務所の
広報・アドボカシーチーム
にてインターン



©UNICEF Tokyo/2022

梅澤 光里さん
国連児童基金 (UNICEF)
東京事務所の
公的資金調達チームにて
インターン

略称(例)	国際機関	期間	経費	応募資格	募集期間
CTBTO	包括的核実験禁止条約 機関事務局	3-12か月	奨学生でない場合、 一部手当あり	学部2年以上在籍 学位取得者 18歳～35歳	随時
IAEA	国際原子力機関	原則3か月-1年 (1か月もあり得る)	手当あり (奨学生を除く)	20歳以上+学部3年間以上の在籍 学士・修士・博士卒業後1年以内	随時
ICAO	国際民間航空機関	最大6か月	自己負担	修士課程最終年在籍 博士課程最終年在籍 修士以上学位取得者	随時
ICC	国際刑事裁判所	3-6か月	自己負担	学部生最終年以上	随時
IFAD	国際農業開発基金	6か月	手当あり	学部2年以上在籍中 院在籍中 学部・修士卒業後1年以内 30歳以下	随時

リモートの
募集も多く
あります！

国際機関職員になるための主な方法や制度、職員の方の経歴等についてご紹介

国際機関人事センターWEBサイトに、
国際機関職員のインタビュー動画・
応募のアドバイスなどを掲載しています。



SNS公式アカウントでは、国際機関
人事に関する新着情報及びセミナー
情報などを配信しています。

パンフレットを
ぜひ一読
ください！



外務省 国際機関人事センター
Mail : jinji-center@mofa.go.jp

